様式第５号

令和４年度　学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	39	学 校 名	静岡県立静岡農業高等学校	記 載 者	竹　下　　晋

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評　価	意見
1	**人を大切にする行動習慣づくりと安全・安心な教育活動の推進**	○身だしなみ検査初回合格率の全校平均 85%以上 ○朝食摂取率年間平均 97%以上 ○地域防災訓練参加率 80%以上 ○１年生全員に対する１分間カウンセリングの実施 ○1 学期に１、２年生に対して学校生活に関するアンケートを実施	B	B	先生方の粘り強い指導で、目標の取組が生徒の意識向上に繋がっている。今後「校則の見直し」等の動きが促進されると予想されますが、生徒が主体的に学びの場に相応しい身だしなみを考えられるよう御指導頂きたい。また決まりを守ることは大切であり、社会に出ていく生徒達が社会常識に歩み寄る心を持てるような指導をお願いしたい。 朝食摂取率は昨年より低下しているものの高摂取率を維持している。家庭の役割が大きいが、朝食の大切さの啓発は継続して頂きたい。金銭的理由により摂取できない生徒がいないか注視をお願いしたい。 学校生活アンケート結果から、学校や教員に対する信頼度は１，２年で必ずしも高いとは言えない。1 年生のカウンセリングと合わせて早いうちに学校に対する信頼を高め、教職員と生徒の関係強化を実感できるように工夫されたい。
2	生徒の論理的、科学的思考力の育成と特色ある教育活動の展開	○漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施 ○本の図書館貸出冊数年間全校で 2,000 冊、１人当り３冊以上 ○『ブックリスト』の編集継続 ○図書委員による本の買い出しの実施 ○芸術鑑賞会の継続的な実施 ○生徒の家庭学習などの授業外の学習活動を支援する方法を検討する。 ○新学習指導要領に対応した観点別評価方法の	A	A	漢字テストの回数の見直しは、実態に即した改善が提案されており、大変有意義であると思う。 アンケート結果では、基礎学力定着、朝読書の習慣は生徒も満足しているようですが、中学時代に比べて学習時間が減っている実情を、今後どう改善していくか更に検討してほしい。生徒が農業高校で主体的に何を学びたいかをイメージできていないと思うので、農業高校独自の学習力の評価方法を取り入れるなど工夫されたらどうでしょうか。 本年度より新学習指導要領が改訂され、評価方法など新たな課題(評定の下振れ問題等)を丁寧に改善しながら取り組まれている。全学年実

様式第５号

		確立 ○農業クラブ各種発表県大会での入賞件数２件以上 ○農業クラブ農業鑑定競技会全国大会での入賞件数３件（各系１件）以上 ○授業参観週間においてＩＣＴを活用した授業を公開する。 ○授業改善サポート研修を実施する。			施となる 2024 年度に向けた先生方の推進力を感じる。 プロジェクト発表について、各教室での視聴に変更したことは、運営における工夫を感じた。対面以外でも発表の経験は、生徒達にとって財産になると思います。より多くの生徒が発表の機会を得られるよう、引き続き運営の工夫を期待する。 農業鑑定競技では昨年を上回り６件の入賞者を出しており、先生方の継続的な指導の表れと思われる。入賞者の取組や頑張りが他の生徒の刺激となり、相互啓発が働く機会になればと願う。 ＩＣＴ活用が確実に広がってきていることは心強く、他の学校とも積極的に情報共有・交換してアイデアを取り入れて頂ければと思う。
3	キャリア教育の推進と生徒一人ひとりの進路実現	○就職、進学決定率 98%以上 ○１、２年キャリア講演会、進路ガイダンス、３年生就労に関する講話の実施 ○「アグリマイスター顕彰制度」申請数年間 20 件を目指す。 ○日本農業技術検定２級合格者 10 人以上を目指す。	A	A	就職・進学ともに初動の速さと連携した指導で高い成果が出ている。また、きめ細かな対応は生徒の安心に繋がっている。進路ガイダンスなど、１，２年生の早い段階での働きかけを継続して実施して頂きたい。 キャリア教育の推進が確実に進められており、取得数や合格数で結果が表れている。また各種の資格取得は生徒の大きな自信と励みになっていると思われる。
4	「昨日の自分を超える静農生」 学校行事、部活動等に主体的に取り組む生徒の育成	○ＰＴＡと連携した教育講演会の開催 ○ＰＴＡ会員のボランティア清掃への協力依頼 ○部活動大会壮行会の実施 ○部活動の目標と活動成果を共有する活動の実施	A	A	今年はメディアで有名なタケノコ王の風岡直宏氏が講演されたとのことで、生徒の皆さんにとって貴重な機会となったと思う。 アンケート結果では、学校行事に対する満足度が高く、生徒の学びを増長する機会を提供できている。また部活動や農業クラブの活動に対する評価も高く学校としての取組は充実していると判断でき評価できる。 安心した学校生活の中で、各種学校行事に主体的に取り組む姿が伺える。部活の活躍も素晴らしく様々な経験より肯定感が高まり更なる活躍に繋がることを期待する。
5	産学官や地域との連携によ	○地元大学、研究所等との研究・研修交流活動	A	A	継続的に行われている活動が多く素晴らしい。毎年、生徒は変わって

様式第５号

	る「農業高校魅力化プロジェクト」の推進	の推進 ○地域・農村・農業の交流 ○次世代へと繋がる研究活動の推進 ○公園清掃等友愛委員会が企画するボランティア活動への生徒参加率40％以上			いく中で引き継いでいく御苦労はあると思いますが、１つ１つの活動が伝統になるよう、こつこつと継続して頂ければと思います。近年はＳＤＧｓに関連するプロジェクトも多く静農との相性は良いと思うので活躍の場が広がることを期待している。 諸機関のプロジェクトに積極的に参加し、多くの成果を出している。本校は今までも諸機関や地域に繋がり成長させて頂いた。これからも繋がりを大切に、生徒個々の魅力を発掘しながら静農の魅力を発信して頂きたい。
6	学校の情報化と校務処理の合理化推進	○学校行事等は積極的にホームページにアップする。 （週１～２回以上を目安とする） ○ＮＥＳデータベース（文書共有、掲示板等）の校務処理への積極的な活用 ○事務処理や会計処理に関する定期的な研修機会の確保	A	A	ホームページやSNSの定期的な更新がされていて、学校の情報が積極的に公開されていると思う。インスタグラムの更新も楽しみにしている。 アンケート結果より、ホームページ活用の生徒の満足度は高くない。様々なツールがある中で生徒との情報共有の在り方を検証した上で、ホームページの活用の方向性を検討されたい。 学校評価アンケートをグーグルフォームに切り替えることで合理化できたことは今後様々な場面の業務改善につながるのではないかと思う。 適正な会計処理ができるように職員研修により意思統一が図られている。コンプライアンスの面からも有効なので継続して頂きたい。
7	**教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進**	○休暇取得の促進 ○定時退勤日の設定 ○作業目標スケジュールによる業務管理	A	A	例年通りにいかないことが増えることで教職員の負担も大きいのではないかと推測する。業務の合理化を推進し、心身ともに健康な環境づくりを期待している。 教育という特殊な仕事を担う教職員に適した働き方を検討してほしい。必ずしも制度を守るのではなく、生徒の満足度を高くし、受験生に選んでもらうための働き方を実現し、アンケートで100%本校に入学して良かったと思ってもらえる働き方を目指して頂きたい。

様式第５号

8	教育予算の効果的運用と施設・設備の計画的な維持管理	○学校経営予算の執行率 ２学期末 80%以上 ○施設設備の安全点検年３回実施	A	A	物価高騰に対し、節電や実習資材の代替化等コスト削減に苦心していることがよくわかりました。台風被害については、臨機応変かつ積極的な働きかけで対処できたようで心強く思う。 来年度も学校経営予算が効果的に運用されるよう、改善事項は丁寧に拾い出し、突発的な案件には迅速な対応と安全確保を望む。